

本会は去る五月十九日別府市教育委員会と共催（大分合同新聞社後援）で、別府市史講演会を開催した。聴衆約八十名、多大の成果を収めて終了した。講演題目左の通り。

- |                |        |         |
|----------------|--------|---------|
| 一、別府市史研究上の諸問題  | 文学博士   | 清原 貞雄   |
| 二、温泉都市別府の自然的基礎 | 分大教授   | 兼子 俊一   |
| 三、先史、原史時代の別府   | 別大助教   | 賀川 光夫   |
| 四、豊後風記と別府      | 盲学校教諭  | 佐藤 四信   |
| 五、別府の神社        | 県教育研究所 | 中野 幡能   |
| 六、莊園時代の別府      | 分大教授   | 渡辺 澄夫   |
| 七、江戸時代の別府      | 県文化財委員 | 久多羅木儀一郎 |
| 八、別府地方の石造遺物    | 青山小教官  | 安部 巖    |
| 九、別府温泉史        | 地方史研究会 | 立川 輝信   |
| 十、別府の民俗        | 分大助教   | 半田 康夫   |

会費納入お願い

- 昭和三十年度 三〇〇円  
 昭和三十一年度 三〇〇円  
 昭和三十三年度 三〇〇円

会誌発行に支障を来しますので、未納の方は至急本会宛御送附下さい。

本号は去る四月二十日から五月二十日までの期間開催された別府博覧会にちなんで「別府特輯号」として企画されましたが、原稿の集りや印刷の都合等で会期中に間に合わず、その後委員の事故等のため、予定より三ヶ月も後れ、会員各位に多大の迷惑をかけたことをおわびします。頁数増大のため二号分合輯としてようやく後れをとり戻すことが出来ましたので、次号からは正常の運営に返り、正確に発行したいと考えています。次号は予告の通り、大友氏及び大友宗麟特輯号としたい考えですので、奮って投稿下さるようお願いいたします。もちろん右以外のものでよく、近時原稿が特定の方に片寄る傾向がありますので、地方の会員の投稿を歓迎します。

尚雑誌の発行の可否は、一にかかつて会費の納入如何によりますので、思いついた時至急御送附頂きたく、現在発誌発行に多大の支障を来している実状です。

(渡辺)

昭和三十三年七月二十五日印刷  
 昭和三十三年七月二十八日発行  
 年会費 三〇〇円 分売は本号に限り 二〇〇円

編輯兼 代表者 渡辺 澄夫  
 発行人 高井 久雄  
 印刷所 大分市上野 電話一七七五番  
 三恵印刷株式会社  
 大分市駄原 大分大学  
 学芸学部国史研究所内  
 大分県地方史研究会  
 (振替下関五二九四番)

発行所